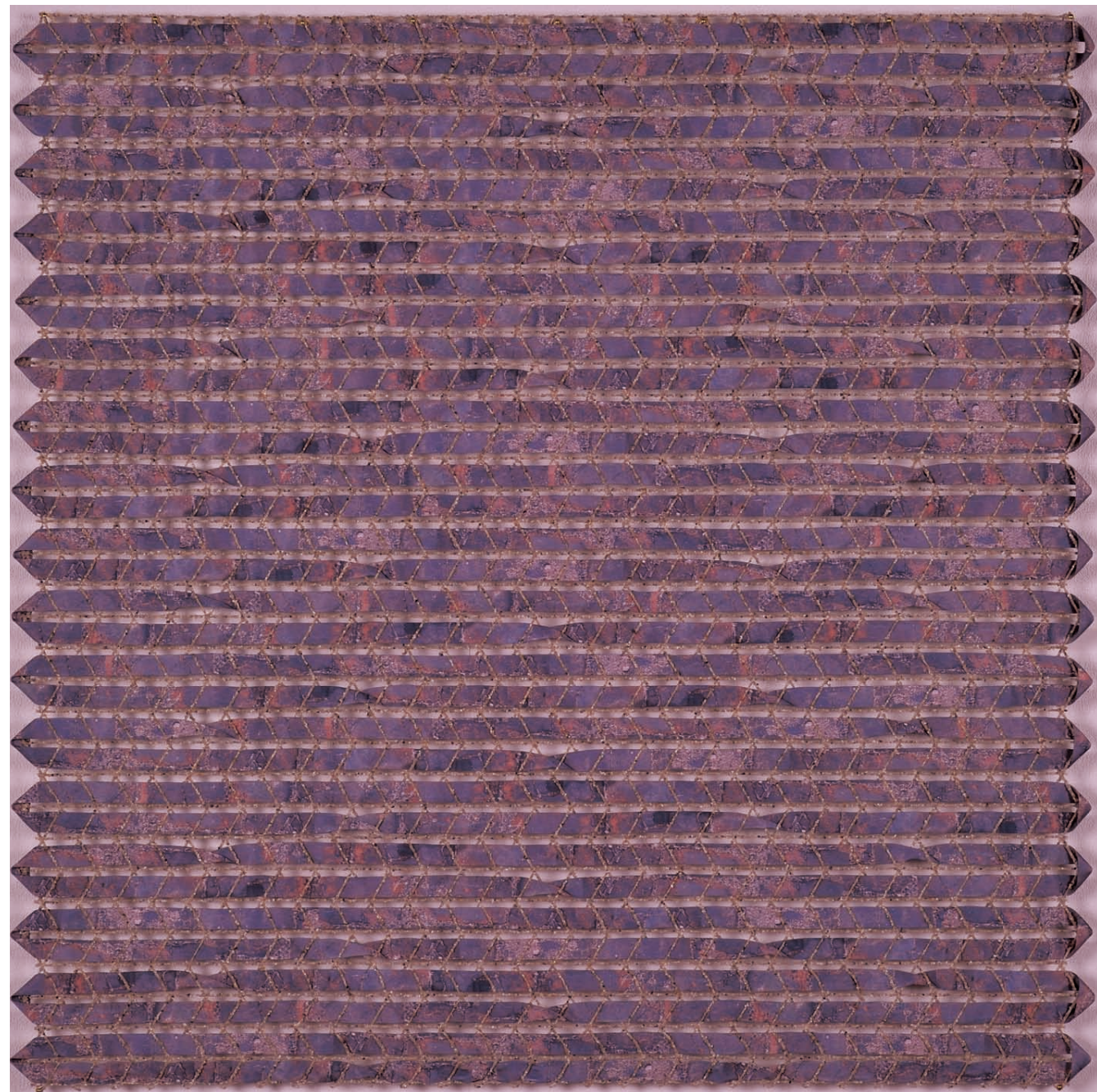




仁尾敬二展『INTERLACING』  
ギャラリーマロニエ／京都  
2011年10月25日～11月6日



INTERLACING  
ポリエステル／アミラド繊維  
H125×W125×3cm  
2011年

この作品『INTERLACING』は、記憶の中に留めておきたい画像をポリエステル繊維に熱転写し、産業資材であるアミラド繊維のシートに編み込んだものである。画像と、砂を接着したアミラド繊維のシートを一体化させることで、産業資材としての用途ではなく、新たな表現の脇役になっても良かった。産業資材の本来の使用目的は明確である。建築、土木、住空間など環境整備の役割が主であるが、作家が作品の素材として扱うことで、今まで見た事もない形態に様を変え、異質な存在感を放つ場合がある。この異質な存在感や素材感に魅了される者、違和感を持つ者が出てきて当然であり、この瞬間から産業資材は作品の一部として認知され、本来の目的以外にも用途が開かれることになり、その作品にとって最良の素材となる。